

[抄録様式]

<p>財団法人 8020 推進財団 平成 22 年度 歯科保健活動事業助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：学童期キャリア教育に於ける歯科啓発活動</p>
<p>2. 申請者名：社団法人小樽市歯科医師会 会長 笠間茂 地域医療担当理事 沖津正尚</p>
<p>3. 実施組織：(社) 小樽市歯科医師会、北海道歯科衛生士会小樽支部、 北海道技工士会小樽支部</p>
<p>4. 事業の概要：</p> <p>「8020 運動」に基づく健康日本21の具体的な目標として①歯の喪失防止、②幼児期のう蝕予防、③学童期のう蝕予防、④成人期の歯周病予防について掲げられているが、その中で③学童期のう蝕予防の観点からみると全国の12歳児DMFT指数1.82 (H17) と北海道の12歳児DMFT指数 3.46 (H17) には大きく差があり、8020 達成のためには、児童・生徒の歯科保健状況の改善は喫緊の課題である。</p> <p>そこで、小樽市歯科医師会では、今までの歯科健康教育とは視点を変えて学童へ働きかけを行う事を企画した。</p> <p>児童・生徒へのキャリア教育事業という教育時間（小学校6年生で100時間）の一部を使用し、歯科保健知識の普及を図ることにより、今後の8020運動の推進に役立つと考える。</p>
<p>5. 事業の内容：</p> <p>歯科医師業務としてCR充填と支台歯形成等、歯科衛生士業務としてスクーリングや清掃指導、歯科技工士業務としてクラウンや義歯作製等について、簡単な説明をビデオと模型を利用し紹介。印象材を練る、石膏を練って固める実習、虫歯の成り立ちなど虫歯予防に関する講義を行った。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）：</p> <p>はじめに小学4年生にキャリア教育を行い、大変好評でPTAからの依頼があり、小学2年生にも授業を行った。小樽市保健所の歯科医師である中村悦子先生にも参加していただき、小学校低学年にも理解しやすい歯科保健知識の授業をしていただいた。地元の新聞にも取り上げられ、また、教育関係者からの依頼も増え大変好評であった。今後は北海道歯科衛生士会小樽支部、北海道技工士会小樽支部とさらなる連携をもち、歯科職種の興味を持たせつつ、歯科保健知識の普及を図り、今後の8020運動の推進に役立つ事業展開をしていきたい。</p>